

って背套長5~10cmの幼イカがほぼ周年漁獲されていること、また追込網漁場が平瀬から泡瀬にかけてのサンゴ礁海域、浮原島海域、浜比嘉周辺海域、金武湾の照間沿岸域であり、この海域が幼イカ及び成イカの主分布域と考えられる。上記のようなことから発育段階別及び季節的な垂直移動は殆んどみられない。建干網、マス網で漁獲されるのは夜間であり、また追込網は昼間に前述した海域の10m以浅で操業しており、昼間と夜間の浅深移動はかなり明確である。また、産卵場、幼イカの生息場と藻場の分布とは密接な関連性がみられる。

(2) 成長

アオリイカの成長については、産卵期が2月下旬~10月下旬の長期に及ぶため、幼稚イカ

表-3 罾ネット及び集魚灯による幼イカ調査結果

調査月日	漁場	ネット	曳網回数	曳網時間	採捕尾数	背套長(mm)	その他のイカ
昭和48年3月30日	金武湾	⊕	2	5(分)	15	44~162	
昭和49年2月20日	中城湾口	"	"	"	0		ミミイカ2
" "	金武湾	"	"	"	"		
" 3月30日	中城湾	"	6	5~10	"		
" 4月25日	"	"	7	"	"		イカ類4尾
" 4月27日	糸満、喜屋武	"	4	10	"		
" 5月11日	中城湾口	"	2	5	"		リンコA型1尾
" 5月14日	"	"	4	10	"		
" "	金武湾	"	"	"	3	5.9~6.3	イカ類2尾
" "	金武湾口	集魚灯			6	13~18	
" 5月15日	中城湾口	"			17	7.7~12.7	
" 9月11日	中城湾	⊕	5	10	0		イカ類1尾
" 9月12日	"	"	4	"	"		

表-4 孵化稚仔の背套長

孵化月日	背套長(mm)	体重(g)
48年9月8日	3.7~6.0	0.02~0.06
平均値	5.3	0.045

図-8 アオリイカの背套長組成

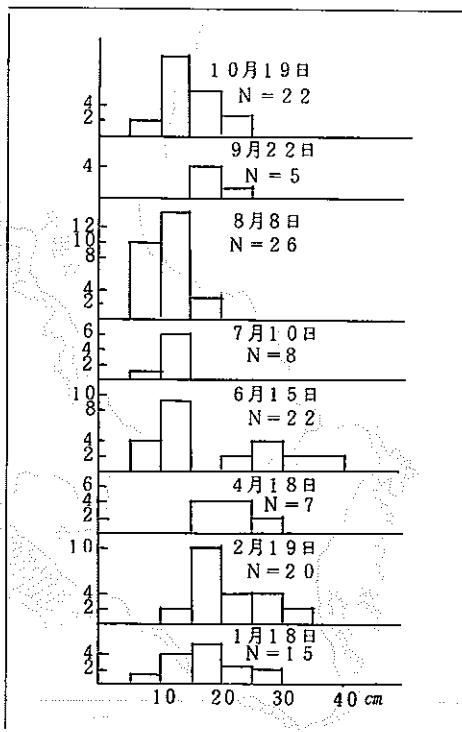


図-9 アオリイカの成長

